



塩田「すぐりの村」まつり
家族で楽しむ
秋の塩田

むらづくりシンポジウム “地域の財を活かす”

14年かけ18万の市民を巻き込み、霞ヶ浦を蘇らせている人がいる！

10月31日(土)13:00~15:30

会場 塩田の里交流館 とっこ館 入場料 無料

●基調講演 飯島 博氏 NPO法人アサザ基金 代表理事



地域の財を活かす循環型社会づくり
(霞ヶ浦・北浦 谷津田再生から酒づくりの事例紹介)

●パネルディスカッション 「塩田・すぐりの村づくり」の活動
塩田地域の財を活かす

日時：平成21年10月31日13:00~15:30(開場12:30)

定員：60人 入場無料

募集開始10月5日(定員なり次第締め切り)

会場：塩田の里交流館 とっこ館 研修室

上田市手塚 さくら国際高等学校隣接

主催：塩田子育てネットワークの会

協力：NPO地域再創生プログラム 日本民家再生協会

問い合わせ：塩田子育てネットワークの会事務局

(さくら国際高等学校内)

〒386-1433 長野県上田市手塚1065番地

TEL 0268-39-7707 FAX 0268-38-8718





「塩田・すぐりの村-グーズベリー-」づくりとは

上田市の塩田平には、日本の原風景と言うべき農村集落と、昭和初期からの木造校舎旧西塩田小学校(現さくら国際高校)が存在し、周辺には独鈷山をはじめ豊かな自然と、信州の鎌倉と呼ばれる貴重な文化遺産があります。それらが織り成す景観は、次世代に伝えていくべき文化的景観資源となっています。しかし、これまで地域を支えてきた農業基盤は深刻な状況にあり、集落の景観存続の為に農業振興策が必要です。

そこで私たちは、昔から、地区の庭に植えられていた清楚で可憐な「すぐり」(グーズベリー)に着目しました。子どもから高齢者まで、幅広い層の地域住民と、さくら国際高等学校の生徒たち、都市部で活動する市民団体とで協働し、休耕地や道端に「すぐり」の栽培を広げ、美しい景観の「塩田・すぐりの村」づくりに取り組みたいと考えています。

つまり、「塩田・すぐりの村」づくりは、すぐりの栽培を通して、塩田地区の景観を守り、農業・教育・観光の面から地域を活性化する活動です。

塩田「すぐりの村」まつり

今回は、塩田を満喫できる季節である秋を選び、塩田の魅力を通じ、県内外の多くの人に、この活動を知って頂くため、「まつり」としてイベントを企画しました。これまでの活動の記録展示や6月に収穫した「すぐり」の試食、むらづくりシンポジウム 手塚コア古民家ギャラリー、オープン民家、まちあるきマップ配布、そして秋に地元で収穫された農産物の直売等、塩田の魅力がまるごと味わえます。

みんなの力で創ろう「塩田・すぐりの村-グーズベリー-」

この活動は平成21年度長野県「地域発 元気づくり支援金」より助成を受けています

シンポジウムプログラム 総合司会 大口義明氏

会場 塩田の里交流館とつこ館 開場12時30分

13:00	開会の辞	さくら国際高校校長 森 大和氏
13:05 13:50	基調講演 地域の財を活かす循環型社会づくり (谷津田再生から酒づくりの事例紹介)	NPO法人アサザ基金代表 飯島博氏
休憩 20分 すぐりジャムの試食		
14:10 15:25	パネルディスカッション 「塩田・すぐりの村づくり」の活動 塩田地域の財を活かす	コーディネーター 八木晴之 建築家・写真家 多数の市民活動
	①すぐりの村全体構想について10分 計画全体、絵本、ジャムづくり等	
	②丸子鹿教湯での活動 10分 すぐり栽培の話	パネラー斎藤繁子氏 鹿教湯内村っ娘の会 他
	③手塚の市民活動取組、10分 今後の「塩田・すぐりの村」づくり	パネラー大口義明氏 塩田子育てネットワークの会 副代表 他
	④ゲストコメント	飯島博氏
	④パネラーコメント	パネラー
	⑤総括まとめ	八木晴之氏
15:25	閉会の辞	大口義明氏
15:30	終了	

講師プロフィール

飯島博氏

「アサザ基金」代表理事

URL: <http://www.kasumigaura.net/asaza/>

1956年長野県生まれ。国内第2の湖、霞ヶ浦の環境再生を目標に、独自のアイデアで様々なビジネスモデルを提案。流域の170を超える小学校などの教育機関や企業、行政、農林水産業を結ぶネットワーク事業を展開している。市民型公共事業「アサザプロジェクト」には、のべ16万人以上の市民が参加。先進的な取り組みとして注目されている。

斎藤繁子氏

「内村っ娘の会」事務局

1943年別所温泉に生まれる。1965年明治学院大学卒業。2004年に立ち上げ、事務局として事業に取り組む「内村っ娘の会」は西内全域の農業、商業、旅館業、主婦など異業種の女性の集まり。地域内の魅力を発掘し、「里山の保全とは」「健康とは」「安全安心の食とは」など多角的な裏づけとその可能性を検証することで、地域活性化の一つの核になることを目的として活動している。

大口義明氏

「塩田子育てネットワークの会」副代表

1943年手塚生まれ。旧西塩田小学校卒業。「塩田地域協議会会長」「塩田自治会元連合会会長」「西塩田地区振興会元会長」歴任。農水保全会の会長等、鉄鋼加工業の傍ら地域活動に従事。

八木晴之氏

「NPO地域再創生プログラム」理事

1947年上田丸子生まれ、両親共上田出身。父親は日本画家。東京育ちであるが上田に関わりが深く頻りに行き来している。建築家・写真家・まちあるき活動等多様な活動中。

「塩田子育てネットワークの会」

代表 小川 勝一

この会は、塩田に残る豊かな自然や貴重な文化遺産を守り、次の世代に伝えるために、平成17年、地元の間人が集まり、発足させました。塩田地域におけるあらゆる子育てを支援し、子どもが育つ環境づくりや学習教材の提供の他、子どもたちが育つ過程に必要な生活体験・自然体験・社会体験や地域の歴史と文化などの実践学習を企画し、学校・団体・施設・地域などに教材提供や人材派遣などの支援活動を行います。

「塩田・すぐりの村-グーズベリー-」づくりは、会の趣旨を発展させ、他の地域の人も交え「すぐり」づくりで塩田地域を活性化する試みです。皆様の協力をお願いいたします。

シンポジウム

申込用紙

FAX

0268-38-8718

	氏名	住所	連絡先電話
1		〒	
2		〒	

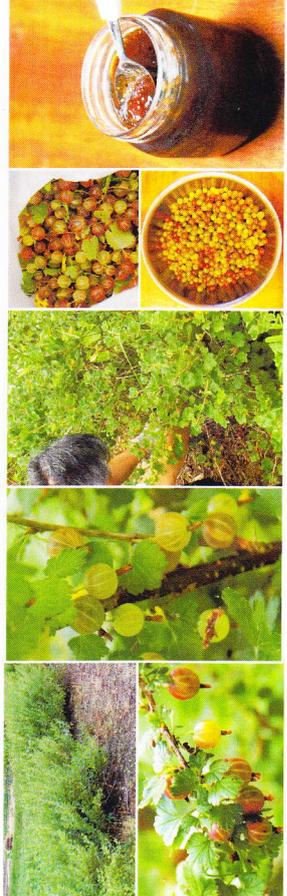


「塩田・すぐりの村」グーズベリーの里ー」づくりとは。

上田市の塩田平手塚地区には日本の原風景と言わうべき農村集落と、昭和初期からの木造校舎旧塩田小学校（現さくら国際高校）が存在し、周辺には独鈷山をはじめ豊かな自然と信州の鎌倉と呼ばれる貴重な文化遺産があります。それが織り成す景観は次世代に伝えたいいくべき文化的景観資源となっています。しかし、地域を支えてきた農業基盤は深刻な状況にあり、集落の景観存続の為に農業振興策が必要です。そこで私たちは昔から地区の庭に植えられたいた清楚で可憐な「すぐり」(グーズベリー)に着目しました。休耕地や道端に「すぐり」の栽培を広げ、美しい景観の「すぐりの村」づくりに取り組めます。

この活動を子供から高齢者まで幅広い層の地域住民とさくら国際高等学校の生徒たち、都市部で活動する市民団体とで協働して行っています。つまり、すぐりの栽培を通して、塩田地区の景観を守りながら農業・教育・観光の面から地域を活性化する活動です。

体験型教育・観光農業……すぐりの栽培/ジャム作り
 すぐり加工品の特産化/塩田農産物のブランド化
 教育・文化観光 ……手塚周辺集落・旧塩田小学校校舎の維持/
 民家暮らしの復元



すぐりの収穫 ジャム作りまでの工程

「グーズベリー」とは？

1~3m程の低木で、枝には棘がびっしりと生えています。しかし、春には薄緑がかった白い可憐な花を咲かせます。その実は翡翠色に白い縞模様が入った宝石のような美しさ。6月下旬頃に加工用の青い実の収穫時期を迎えます。もう少し待っていると実は赤く色づき、生食するに良い甘さになります。フサスグリより大きな実で、昔、自宅の生垣などの実を食べた思い出のある方も多いのではないのでしょうか。

実にはカロテンやカリウムが多く含まれています。カリウムは塩分を体外へ排出する役割があり、高血圧に効果があります。味は酸味が強いですが、ジャムやソースにすることで酸味を生かした味を楽しめます。



花植え…
手塚の村にふさわしい花 レンゲヤコ スモスを!

すぐりの苗木移植…
休耕地に苗木をみんな植えて、大切に育てましょう。



来年度以降の事業計画

6月下旬にすぐりの収穫を行ったり、実をジャムに加工するなどのイベントを計画しています。すぐりの苗木や花の移植は引き続き行っています。

この事業は平成21年度長野県「地域発 元気づくり支援金」より助成を受けて活動しています。しかしこの事業を大きく推進していくには、すぐりや花の移植、加工品の開発などさまざまな費用がかかります。それらの資金調達に皆様のご協力をいただけましたら幸いです。1口1,000円よりお願いいたします。イベントのお知らせなどご案内いたします。

「塩田・すぐりの村」グーズベリーの里ー」づくり事業に寄付いたします。 月 日

お名前	TEL FAX
ご住所 干	メールアドレス
金額 ¥ (口)	領収書 必要 不要

振込先 上田信用金庫塩田支店 普通預金 シオタコソダテネットワーク/カイ
 口座番号 4016075

改修民家見学…
昭和20年代の暮らしぶりを再現。なつかしい? 新しい!?

■「すぐりの村」グーズベリーの里の里感」
 @さくら国際高校・手塚公民会
 8月23日(日)
 すぐりの木植え・手塚古民家集落見学

■「すぐりの村」祭 シンポジウム
 @独鈷館
 10月31日(土)11月1日(日)
 まちあるきイベント開催
 「すぐりの村」構想展示
 改修民家を中心としたオープン民家

すぐりジャム
づくり
 実を収穫して美味しいジャムを作ろう。他にもどんな加工品がでるかな。

まちあるき…
塩田・手塚地区のまちあるき。地図を片手に魅力の発見。オープン民家の見学も。

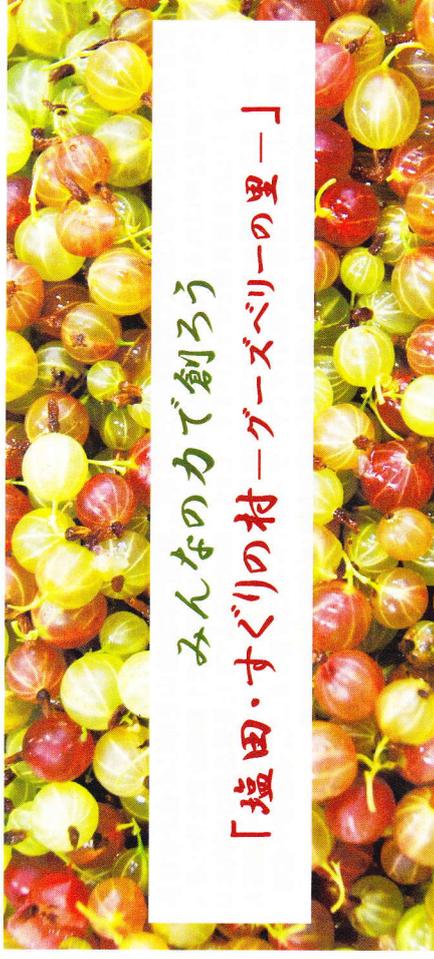
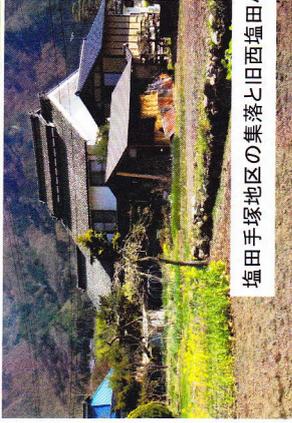


「塩田子育てネットワークの会」

代表 小川 勝一
 この会は、塩田に残る豊かな自然や貴重な文化遺産を守り、次の世代に伝える為に地域の人が参加するプロジェクトで、平成17年に発足しました。塩田地域におけるあらゆる子育てを支援し、子供が育つ環境づくりや学習教材の提供などのほか、子供たちが育つ過程で必要な生活体験・自然体験・社会体験や地域の歴史と文化などの実践学習を企画し、学校・団体・施設・地域などに教材提供や人材派遣などの支援活動を行います。

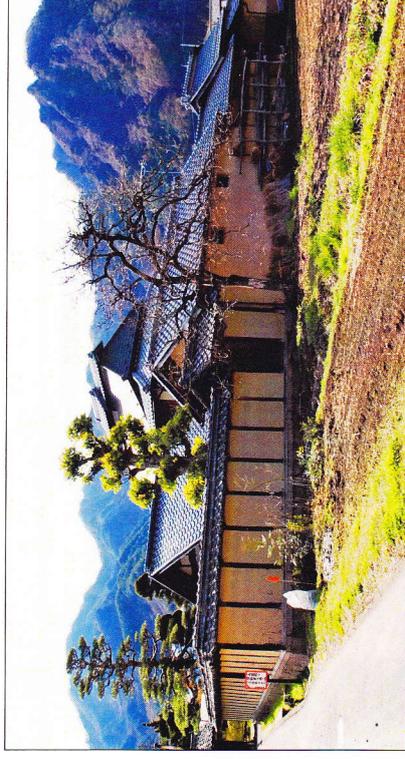


塩田手塚地区の集落と旧塩田小学校南校舎と独結山の景観



みんなの力で創ろう

「塩田・すぐりの村—グーズベリー—の里—」



「すぐりの村」塩田手塚地区には次世代に伝えていくべき貴重な文化的景観観光資源があります。

塩田子育てネットワークの会事務局(さくら国際高等学校内)
 〒386-1433 長野県上田市手塚1065番地
 TEL 0268-39-7707 FAX 0268-38-8718
 担当 高橋・濱岡・神野
 事業内容・寄付金に関するお問い合わせは...
 八木 晴之(八木晴之デザイン研究室)090-8503-7113
ha.yagi@ybb.ne.jp
 神野 倫子(事務局さくら国際高等学校)までどうぞ。



塩田子育てネットワークの会